

<b>Course number</b>		U-LAS29 20028 SJ48					
<b>Course title (and course title in English)</b>		日本語アカデミック・ライティング Japanese Academic Writing I		<b>Instructor's name, job title, and department of affiliation</b>		Institute for Liberal Arts and Sciences Associate Professor,AKUZAWA KOYO	
<b>Group</b>	Languages			<b>Field(Classification)</b>			
<b>Language of instruction</b>	Japanese			<b>Old group</b>		<b>Number of credits</b>	2
<b>Number of weekly time blocks</b>	1	<b>Class style</b>	Seminar (Foreign language) (Face-to-face course)		<b>Year/semesters</b>	2025・Second semester	
<b>Days and periods</b>	Tue.3		<b>Target year</b>	1st year students		<b>Eligible students</b>	International students
<b>[Overview and purpose of the course]</b>							
論文・学術的レポートを日本語で書く上で必要な基礎的な知識・技能を身につけることが主な目的である。本授業では、論文の文体や表現、資料の探し方、引用の基本、要約、文のタイプ、図表の作り方などの講義と、日本語での意見文作成の実践を通して、まとまった量の論理的な日本語を書けるようになることを目指す。							
<b>[Course objectives]</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で資料を集めて、その論旨を上手にまとめられるようになる。</li> <li>・論文で使う日本語表現を学んで、使えるようになる。</li> <li>・議論の展開の仕方を学んで、短い意見文が書けるようになる。</li> </ul>							
<b>[Course schedule and contents)]</b>							
日本語で論文を書く上で必要な基礎的知識（資料の探し方、論文の要約方法、参考文献の書き方など）を学ぶ。また、論文で使う文体、日本語表現などを実例や実践を通して学び、最終的にいくつかのテーマに基づいた意見文を完成させる。							
第1回 オリエンテーション/論文とは 論文がどのような性質をもっているのかを学ぶ。 第2回 論文の文体と表現 学術的文章の特徴を知る。 第3回 論文の文体と表現 学術的文章の特徴を実践を通して学ぶ。 第4回 資料の探し方・集め方 資料の種類と性質、集め方を知る。 第5回 引用とは/引用の仕方と参考文献の書き方 引用の基礎、引用の仕方、参考文献の書き方を学ぶ。 第6回 要約の基礎/論文要約 要約の基本を学び、短い日本語の意見文を要約する。 第7回 論文要約 /論文の種をまく 実際の小論文を要約してみる。論文に疑問をぶつける練習をする。 第8回 調査方法の基礎/文のタイプ(事実・意見・行動を述べる文) 調査をする際の注意点を学ぶ。事実と意見を分けることの重要性を知る。いかに日本語で事実・意見・行動を書き分けるかを学ぶ。 第9回 論文の基本構成							
-----							
Continue to 日本語アカデミック・ライティング (2)							

## 日本語アカデミック・ライティング (2)

論文の書き始めに関する基礎知識を学ぶ。  
第10回 論文の基本構成  
論文での議論の展開方法を学ぶ。  
第11回 論文の基本構成  
論文の締め方を学ぶ。  
第12回 図表・グラフ作成の基礎/図表・資料の表現  
図表・グラフ作成の基礎とそれらを提示するための表現を学ぶ。  
第13回 意見文の推敲(日本語)  
他人の意見文と比較しながら自分の意見文の日本語を推敲する。  
第14回 他人の意見文を評価する(内容)  
他者の意見文を評価しながら自身の意見文の内容を推敲する。  
《期末レポート》  
第15回 フィードバック

### [Course requirements]

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

### [Evaluation methods and policy]

授業への参加度(30%)、課題(30%)、意見文完成稿(40%)によって評価する。

### [Textbooks]

Not used

ハンドアウトを配付する。

### [References, etc.]

(References, etc.)  
浜田麻里ほか『論文ワークブック』(くろしお出版, 1997)  
小森万里・三井久美子『レポート・論文を書くための日本語文法』(くろしお出版, 2016)

### [Study outside of class (preparation and review)]

授業では、授業外で行う課題を用いての実践やグループワークを行うことがあるので、課題には計画的に取り組むこと。

### [Other information (office hours, etc.)]